

(特非) ラムサール・ネットワーク日本

ラムサール条約と生物多様性条約の水田決議に基づく田んぼ10年プロジェクトの加速化とSDGsを組み入れた新しい水田目標の構築と活動の推進

活動地域  日本全域及び国外



地域交流会（小松島市）の開催

課題

活動的な参加者を増やし、活動全体の活性化と、継続した事業としての基盤を強化する。その視点から人材育成、組織運営体制、将来ビジョンの重点項目の可視化を行う。

目標

参加者が少数の地域で重点的に活動し、取組みを拡大・主流化し、年度内にSDGsとCBD新戦略計画を組み入れた新・10年計画を策定し、POST2020に備える。



今後の
展望

2021年に新田んぼ10年プロジェクトの行動計画の策定とキックオフシンポジウムを行い、これまでの活動成果を継承し、今後の道筋を示し、より多くの賛同者を得て、田んぼの生物多様の主流化に向けて更なる推進を目指す。

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

地域交流会（小松島市）、ヒアリング（2回）を開催し、登録参加者は、延べ301団体・個人となった。2020年以降の新10年計画策定のワークショップ、田んぼの生きもの調査と多面的機能支払い制度の勉強会（八代市）を開催。
農水、環境、国交省と水田決議円卓会議準備会を5回開催。「田んぼ10年だより」を3号刊行。
エコライフフェア（オンライン）に参加し、活動内容を配信。IUCN-Jの生物多様性国家戦略を考えるフォーラムで農業の分科会を開催。田んぼの生物保全の動画を作成。10年間の成果をまとめた報告書を発行。



田んぼの生きもの調査（八代市）の参加者

水田決議円卓会議準備会 **5回**

「田んぼ10年だより」の発行 **3号**

今年度計画の達成度 **60%**

目標達成度 **75%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス対策で、会議・集会規制が流動的で、延期も続いたため、事業実行計画や将来計画の検討に齟齬が生じた。

■工夫した点

会議・集会の規制対応として、実施時期を調整するとともにオンライン化を進めた。実際に集まる場合は感染対策を徹底した。

〒110-0016
東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3F
電話：03-3834-6566
E-mail：info@ramnet-j.org
HP：http://www.ramnet-j.org/

